

施設の活性化について

目的

越路地域にある公共施設の有効利用と活性化に向けた取組みの検討

施設の有効利用と活性化（現在の状況、また今後有効活性の予定）

【地域振興課】

支所

庁舎は昭和62年建築で築27年が経過。現在の利用状態は別紙のとおり、2階が行政の執務室、その他の部屋は各種の会議や研修（302、303、304研修室及び306会議室は市及び県の研修会場として使用）に利用されている。（主に平日）一般への開放は行っていない。

今後の支所の在り方について明確化されていないため、空き室の有効利用について具体的なことは言えないが、三島支所庁舎がコミセン化された経緯もあり（平成21年度）

検討してみる要素はあり。その場合、セキュリティの面から1階101多目的会議室、3階302～306号室、309号室が利用できる可能性がある。

体育施設（越路河川公園、越路体育館、浦体育館、石津トレーニングセンター、越路中野島地域体育センター、塚山地域体育センター、塚山南部地域体育センター、十楽寺分館、B & G海洋センター）

平成26年度は、越路河川公園野球場のナイター照明設備改修工事を予定している。昭和60年にナイター設備を取り付けて以来、腐食や漏電を繰り返してきたため、4塔全部を取り替えることにした。今年度は既に設計が完了しており、支所としては単年度工事を要望している。

同じく26年度には、現在保健センタートレーニングルームで市民に開放している運動器具を越路体育館会議室に移設し、4月から市民向けに供用開始する。指定管理者の方で自主事業等を展開しながら、利用者の増加に努めます。

越路地域の指定管理施設（8施設）について、指定管理者と支所の間で十分連携を図りながら、使いやすい施設を目指し、さらに自主事業の幅広い展開を支援していきます。

なお、直営施設を新たに指定管理施設として追加する考えは、今のところありません。

施設名	指定管理者	受付
浦体育館	グリーン産業・愛宕商事グループ	浦体育館
越路河川公園		
越路体育館	山崎・小川共同企業体	越路体育館
榊形山自然公園		
巴ヶ丘自然公園		
成出運動広場		
長谷川運動公園		
越路B & G海洋センター		B & G プール

児童交流会館

児童クラブひだまりの継続（分室の立ち上げは「児童クラブの増設について」に記述）

郷土資料館

特になし

地域交流館

児童クラブるんるんの継続

その他の施設（巴ヶ丘自然公園、榊形山自然公園）

特になし

【産業建設課】

塚山地域活性化センター

活性化センターは観光地としての位置づけも無く、あまりPR活動も消極的で知名度が低いのが現状である。特に食堂部に関しては、過去3軒営業をしていたが、いずれも失敗し撤退。食堂部を閉鎖しざるを得ないまで追い込まれたが、地元塚野山地区と協議した結果、塚野山の活性化を図るため地元住人が気軽に集まれる食堂（現在は、もつ煮込みが中心）を地元の者が開店をした。

今後は、食堂の一部を利用し青空市場を展開する。

活性化センター脇の三波春夫銅像のPR

6年後に開催される2度目の東京オリンピックに合わせ、第1回目に東京オリンピック音頭を披露した歌手の三波春夫をこれを機にもう一度PR活動を展開する。

（東京方面の報道関係は、かなり関心があり、数件の問い合わせがある）

防災ひろば

本ひろばは、「長岡市地域防災計画」及び「越路防災ひろば基本計画」に基づき、越路地域における防災力の向上と少子高齢化社会に対応する"ひと"に優しい緑の空間を創出するため、長岡市が都市計画決定した地区公園である。災害時には、炊き出しや物資の配給など、住民向けの支援拠点として活用されるが、平時は、地域のイベントや自主防災活動など、地域住民が幅広く利活用できるような自由広場を基本としている。

平成23年度の竣工以降、「花いっぱいフェア越路サテライト会場」として活用された以外、イベント等の会場として、ひろばを利活用された実績はない。

今後、大規模な利活用を考えるならば、もみじ園やホテル自然公園等と一体となったイベント等を企画する必要があると思われる。

なお、地域住民からは、散歩コースや休憩所として利活用されている。

【市民生活課】

越路総合福祉センター

<現状>

- ・市民の活動の場として貸し出しており、主として市民の団体・グループやサークル・福祉団体等による各種活動、研修、会議等で活用されており、定期的に利用をしているグループも多い。
- ・公民館事業、市の福祉保健事業等でも使用している。
- ・一部のスペースを社会福祉協議会・シルバー人材センターに事務室として貸し出している。
- ・図書室も併設され、図書の貸し出し業務も行なっている。

<今後について>

市民活動の場として、さらに市民の自主的な活動が促進されるよう、将来のコミュニティセンターへの移行も視野に入れ今後検討をおこなう。

越路保健センター

<現状>

- ・市が実施する母子・成人・高齢者等の健診・健康相談・健康教室・講座等保健事業で使用しており、併設のトレーニングルームを日中・夜間開放している。

<今後について>

- ・H26年度よりトレーニング機器の利用者の拡大を目的に、機器を越路体育館に移設する。
- ・空きスペースとなったトレーニングルームに、来迎寺地区の放課後児童クラブをH26年度より開設し、核家族化が進む来迎寺地域の子育て支援の場として有効活用を図り、保健事業の視点からも連携をとりながら支援していく。

その他の施設

越路ふれあいの家

<現状>

- ・高齢者福祉の増進を目的に設置された施設で、地域の陶芸団体である「陶友会」が主に使用しており、子どもを対象とした陶芸教室も行っている。

<今後について>

- ・現状を維持しつつ、陶芸の楽しさを更に発信する施設となるよう人的支援を行う。

第1分科会からの意見

越路地域には、非常に多くの施設が整備されて管理、運営されている。

指定管理者制度を導入して、使いやすい施設を目指し、さらに自主事業の幅広い展開をしている。

これらの施設をどう広報していくか分科会で審議し、有効活用したい。